

## I 事業執行方針

「とちぎ農業未来創生プラン」に基づき、本県の強みを生かして成長産業としての農業の更なる発展を図るため、国際情勢の変化に伴う食料安全保障への関心の高まりや、燃油・資材等の生産資材の価格高騰のほか、AIやDX等の先端技術の飛躍的な進展などの情勢変化に的確に対応しながら、「需要に応じた米づくりの推進」と「園芸大国とちぎづくり」に重点的に取り組む。

### 1 需要に的確に対応した米づくりと収益性の高い作物への作付転換

「需要に応じた米づくり推進方針」に基づき、農地の約8割を占める水田をフル活用し、収益性の高い米づくりや露地野菜、麦・大豆、飼料用米等への作付転換による大規模な産地づくりの取組等を支援する。

#### (1) 栃木の米づくりプロジェクトの推進

収益性の高い米づくりを実現するため、超低コスト生産モデル経営体の育成や「とちぎの星」の高品質化による家庭向けの販売力の強化、需要が増加する米粉用米の地域内流通の取組拡大等を支援する。

#### (2) 水田を活用した露地野菜の拡大、収益性の高い作付転換の促進

高収益な水田農業の確立を図るため、需要が増加している露地野菜や麦・大豆の生産拡大と安定生産に向けた施設整備の促進、米粉用米、輸出用米、飼料用米、飼料作物への作付転換の取組を支援する。

### 2 「園芸大国とちぎづくり」のフル加速

新たな「いちご王国・栃木」戦略に基づき、「とちあいか」の生産拡大と収量や品質の高位平準化を図るとともに、安定した需要がある「トマト」や「にら」、「梨」などの施設園芸品目の生産拡大を推進する。

#### (1) 「いちご王国・栃木」戦略の推進

「とちあいか」の主力品種への大転換を核として、本県いちご産地をけん引する人材育成をはじめ、県オリジナル品種の特徴を生かした生産拡大、健全苗の安定生産・供給体制の構築、リレー苗による分業化などの取組の支援のほか、AIを活用した新たな生産システム開発や県産いちごのブランド価値向上に向けた魅力発信、輸出拡大に向けた取組を支援する。

#### (2) 施設園芸の高度化

需要動向や地球温暖化などの情勢変化を踏まえ、いちごに次ぐ主力となる園芸品目を育成するため、トマト、にら、梨、アスパラガス等の生産拡大に向けた施設整備や、収益力向上に向けた分業化、経営スキルの向上の取組等の支援のほか、産地間競争に勝ち抜くため、広域集出荷施設を核とした生産・流通・販売のデータを活用したフードチェーンの構築支援によるDXの実現を図る。

#### (3) 土地利用型園芸の一層の拡大

土地利用型園芸の拡大を加速化するため、産地間競争に打ち勝つ価格交渉力を備えた50ha規模の露地野菜の産地づくりや、新たな産地拡大、複数の産地連携による新たなサプライチェーンの構築等の支援に加え、重点品目の販路開拓に向けた取組の強化を図る。